

## 林野庁長官賞

### 四万十ヒノキ（間伐材）による集成材の製造・供給システム -広く住宅部材を生産・環境に配慮した製品-

大正町森林組合集成材工場（代表者 代表理事組合長 山本 静男）

#### □事業体の構成

集成材工場

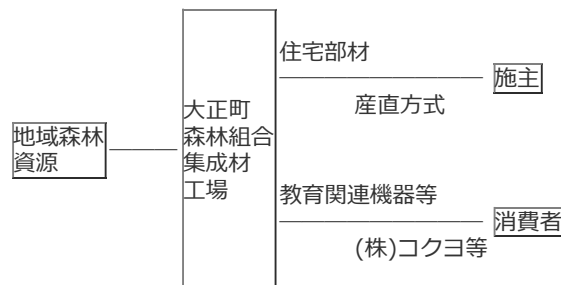
事務員3名、工場職員12名、臨時職員13名（男3、女10）合計28名

〒786-0302 高知県幡多郡大正町瀬里57-3（工場）

電話 0880-27-0175 FAX 0880-27-1032



#### □事業の仕組み



## 1. 地域の概要

大正町は、県西部を南流する四万十川の中流域に位置し、総面積199km<sup>2</sup>の92%に当たる183km<sup>2</sup>が森林に覆われる中山間地域である。

森林の所有形態は国有林35%、民有林65%の割合となっており、民有林の人工林率は65%、その内81%をヒノキが占めている。

地域の年平均気温は15.5℃、年平均降雨量2,700mmと温暖多雨な気候条件に恵まれ、農林産物の育成に適している。

人口の動態は昭和30年の7,066人をピークとして平成12年には3,500人と約50%に減少し、典型的な過疎と併せ、高齢化が急速に進行している。

資源の状況から、古くより林業が地域経済を支える中心的産業として位置付けられており本町の発展には林業の振興が欠かせないが、資源状況の悪化、木材価格の低迷による生産意欲の低下により、町産業に占める林業の割合は低下している。

## 2. 事業内容等

### (1) 事業の目的

- 間伐材等の低質材の利用による資源の有効活用、森林所有者の所得の増加。
- 低質材から付加価値の高い製品の供給。
- 木質内装資材の供給や、自然塗料の使用による室内環境への配慮

## (2) 事業の内容

柱から内装材、家具までの供給。

- ①柱（乾燥材）の供給
- ②住宅部材（建具等）の産直方式による出荷（邸別での発送）。
- ③家具のオーダーメイド

## (3) 施設の整備状況

製材工場（年間1,000m<sup>3</sup>「原木」）・カットストック工場（年間1,200m<sup>3</sup>「ラミナ」）

集成材製造工場（2ライン）・NC加工及び塗装工場

## (4) 事業の実績

### 別表のとおり

## (5) 事業の成果（事業体の評価）

平成元年に設立して以来、年々実績は伸ばしてきたが、住宅、公共事業の落ち込みにより売上額は横ばい状況となっている。

平成10年度の林業構造改善事業を活用し機械設備を導入した事により、生産性の向上を図り、新しい事業展開を進めている。

販売先としては、コクヨ、通販生活、林野庁、宮内庁・教育関連など、間伐材を使った事務用デスクや学童用デスク、ダイニングテーブルなどの製品作りに努め、四万十ヒノキのブランド化に努めている。

また、グリーン購入法に適合した製品の供給など、環境に配慮した取組みを進めている。

## (6) 今後の取組み

(株)コクヨなどとの取組みにより、厳しい経済状況の中、売上を落とすことなく推移してきた。

納期の厳守や、製品の品質を向上させたことで実現したことであり、今後も引き続き品質の向上に努めると共に、環境に配慮した商品の供給に努めていく。

また、更に生産効率を高め、製品の安定供給と共に、四万十ヒノキのブランド化を推進することで、地域林業の再生並びに木材の生産意欲の向上により、地域経済の活性化を図る。

## 3. その他（特記事項、補足事項）

CADを利用して、NC加工機により加工することで、組立て式家具（建具）を製造することにより、現場での端材を無くすと同時に、産地直送での輸送により、輸送費のコストダウンに努めている。

また、一般個人からの注文に対しては、オーダーメイド家具として、個人の求めるサイズの家具を作成している。

## 別表

種 別	平成10年度	平成11年度	平成12年度
売上額 (計画)	245,000千円	244,770千円	242,458千円
(実績)	227,625千円	222,616千円	229,715千円